

青少年くらし

家庭版

発行
倉敷市教育委員会
編集
生涯学習課
☎ 426-3845

10月



今回は、令和元年度「わが家のすこやか日記」に、倉敷市内から選ばれた児童・生徒の優秀作品を紹介します。
「わが家のすこやか日記」は、毎年、おかやま子ども応援推進委員会 地域家庭教育推進部会（事務局：岡山県教育庁生涯学習課）が、岡山県下の幼児から一般までの人を対象に作品の募集を行っています。

【お父さんとおおわらいで賞】
「お父さんのズボンのあな」

中洲小学校 第一学年

橋本 菜央

お父さんが、しごとからかえってきた。ズボンに、あながあいていた。わたしは、大わらいました。お父さんが、かえってきたら、わたしは、大すきなぶどうをたべるときより一〇〇〇ぱいうれしい。おもしろいことがあったら、二〇〇〇ぱいおもしろい。ズボンのあながあくぐらい、はたらいてくれて、ありがとう。

【審査員より】お父さんのことが大好きな様子がとてもよく伝わりました。きつとお父さんも、菜央さんの笑顔を

見ると、いつもより一〇〇〇倍も二〇〇〇倍もうれしい気持ちになると思いますよ。



【家族みんなで考えるで賞】
「今週のこんだて」

万寿小学校 第二学年

安藤 紗英

わたしの家では、一週間ぶんの夕しよくのこんだてを、みんなで考えます。その方が、おかあさんもたすかるし、じぶんのたべたいものをリクエストできるから、うれしいです。休みの日には、一週間のしよぐいを、みんなでスーパードに買いものに行きます。カレーやぎょうざを、かぞくでつくったりも

します。わたしは、その時間が大好きです。

【審査員より】献立を決めて、買い物に行ったり、料理を作ったり、一人ですると大変なことですが、家族と一緒に楽しい時間になりますね。これからも家族の時間を大切にしてくださいね。

【やっぱりみんなと一緒がいいで賞】
「わが家は毎日大せんそう」

味野小学校 第五学年

尾池 星奈

「トイレ、トイレ。」とうるさく一日が始まり、順番待ちで朝からがまんの毎日。大好物のものがでると、「じゃんけんぼんー」がこうれい。一番に選べないことが当たり前。でも夏休み、おばあちゃんのおうちに泊まりにいつてわかったことがある。うるさくても、けんかしても、がまんしても、やっぱりみんなと一緒にいいな。五人きょうだいだよかった。お父さん、お母さん、ありがとう。

【審査員より】兄弟と離れていつもと違う経験

をしたからこそ、いつも一緒に居ることの大切さに気づいたのでしょう。兄弟の声が重なり合うたびに、五人の絆は深まっていくものです。これからも、兄弟と一緒に仲良く過ごしてくださいね。

「おかあさん」

沙美小学校 第一学年

原田 真嘉



「おいしそうなおもろこし」 水彩

倉敷市立旭丘小学校

2年 野上 昊暉（こうき）（令和元年度）
ともろこしの下書きは、とってもむずかしかったけど、ていねいに色をぬると、きれいにかけたのでうれしかったです。



といってくれます。そしたらぼくのいらいらは、どこかへいきます。

「わたしのかいの木」

万寿小学校 第三学年

若林 歩楓

わたしの家には、わたしが四さいぐらいの時から植えてある一本のかいの木があります。『かい』という木の名前にちなんで、家族みんなで『かいちゃん』とよんでいます。もらったときは、四さいの時のわたしの「せ」より小さかったのに、今では八さいのわたしの「せ」も、とうにこえていきます。ある日、母から言われました。「あれ？かいの木のとっぺんに近づいた？」と言われました。そう思えばそんな気がしてきました。わたしがぐんつとのびても、あまりかいの木はちよつとしかのびません。まるで「せ」のおいかけてです。わたしは、これからも『かいちゃん』とともにおいかけてこをし、ともにせいちようしていきます。

「ジャムのびん」

万寿小学校 第五学年

日下 知那

私がジャムのびんのふたをあけようとすると、いつもあきません。お母さんにたのんでも、ふたはあいてくれません。なので、いつもお父さんがふたをあけるのですが、あけるたびに毎回ふたをペコペコとおしながら、「ひらけー、ひらけー。」とまほうをかけてから、ふたをあけます。本当は、お父さんの力であけているのですが、まほうと言って家族を笑わせてくれます。お父さんのおかげで、いつもおいしいジャムが食べられるし、笑顔で一日をむかえられます。お父さんは、うちのまほう使いです。



「世界一おいしい野菜」

中洲小学校 第五学年

小幡 楓

私のおばあちゃんは、畑をしていますが、おばあちゃんは、畑で育った野菜をよく私たちにくれます。おばあちゃんの野菜は、無農薬でとってもおいしい

いです。おばあちゃんの野菜は、虫も私も大好きです。おばあちゃんのえだ豆を使ったえだ豆ごはんは絶品です。ほかほかのごはんの中にうもれた緑の宝石は、少し塩気があって、世界中の人にわけてあげたいと思うくらいおいしいです。おばあちゃん最高！

「楽しんでね」の意味

中洲小学校 第六学年

金井 咲紀

私の母は、毎朝登校する時に庭に出て見送りに来てくれます。その時いつも、「がんばってー！」でも「気を付けてー！」でもなく、「楽しんでねー！」と笑顔で言っ手て手をふります。運動会の日も、学芸会の日も、なんで、「がんばってー！」ではなく、「楽しんでねー！」なのだろうと、小さいときからずっと思っていました。六年生になって、全校のみんなの前で話す機会があった時、がんばろう！と思うより、楽しもう！と思った方が、自然にきんちようせずになりました。その時、いつも「楽しんでね！」と応えんしてくれていた意味がやっと分かって、ありがたいの気がします。

「可愛い弟」

多津美中学校 第三学年

岡野 仁胡

私には、中学一年生の弟がいます。反抗期真っ只中。勉強している受験生の私にも気を遣うことなく、スマホを見て笑っています。指摘すると言いつ返してくるし、ムツときます。こないだまで、「お姉ちゃん、お姉ちゃん。」と言ってくる可愛い自慢の弟だったのに……。淋しい気もしますが、これも成長過程。また可愛い弟になる日が来るのかな。「人が大事」わが家の家訓です。弟が中学三年生になったときは、姉なりに応援してやります！

【補足説明】反抗期は正常な成長過程だと聞きます。日々、弟に腹が立つことも多いけど、父と母と共に、また可愛い弟になるのを待っています。

